

ほっかいどうの社会保障

2014年12月17日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

生活・医療・労働など とても困っています。

年末の相談会 涙ながら相談も寄せられました

12月に入り、11日に「雇用とくらしのSOS 何でも電話無料相談」、12日に「SOSネット西区 相談会」、10日には「ブラック企業告発110番 労働相談ホットライン」が行われ、格差と貧困の拡大や社会保障の後退などによる深刻な相談が寄せられました。相談活動も強めましょう。

「生活の見通しがたたない」「医療費が払えない」「葬式代が用意できない」…

雇用・くらしSOSネットワーク北海道が行った11日の電話相談会には、生活、医療、法律など、道内各地から相談が寄せられ、弁護士、司法書士、医療ソーシャルワーカー、生活相談員、労働相談員が応じました（11件10人）。中には、涙ながらに相談する方もいました。

相談の中から

- 眼底出血で手術を受け退院した。妻と妻の母と3人くらし。生活の見通しがたたない（60代男性）
- 母親と次男と二人暮らしで、年金と次男の収入で何とか生活してきたが、うつ病の長男が本州から戻ってきた。生活の見通しがたたない（現在、長男は精神科入院中）
- 病気で働けず、医療費の支払いが困難（本人の障害年金6万6千円、夫の給与10万円）
- 生活保護を利用している父が末期がんで入院中。保護課から、「生活保護の葬祭扶助をだせないので残っている保護費でやるように」といわれた。



介護・年金・くらしなどの相談も SOSネット西区 相談会

12日、西区民センターで行われた相談会には、12人が訪れました。街頭や住宅に配布したチラシを見たり、知人の紹介などで参加した方もいました。

今回は、高齢者からの相談が多く、年金問題や医療費の支払い、親の介護などの質問や相談も寄せられました。中には、「年金が少ないが生活保護を利用できないか」「年金が少なく、6年間介護保険料を滞納した」「生活保護が打ち切られた」などの相談もあり、それぞれ相談に応じました。



ブラック企業告発110番 労働相談ホットライン

全労連が10日行った労働相談ホットラインは、道内では（5か所で実施）、25人（電話24、メール1）から相談が寄せられました。

今回は、「ブラック企業告発110番」ということで内部告発や家族からの電話が目立ました。

自動車学校の職員からの内部告発です。

無断で給料を下げる、残業代は会長の決裁が必要、始業時間1時間前のサービス労働は当たり前、休日も呼び出しがあり連絡が取れなければ一大事。

暴言とパワハラも…



12月25日（木）10時～16時 エルプラザ4階 大研修室

労働と生活の総合相談会

主催 反貧困ネット北海道